

表1

	翌年6月末民間在庫	1ヶ月消費量	9月末在庫
2020年産	219t	58.7t	43t
2021年産	217t	58.4t	41.8t
2022年産	197t	57.6t	24.2t
2023年産	153t	58.8t	-23.4t
2024年産	121t	59.3t	-56.9t

新米が8月から収穫、供給され、新米でどうか食いつないだ。

# 自民党農政の米政策が令和の米騒動を引き起こし、主食さえもアメリカへ差し出す

表1(↑)は9月末の民間米在庫の推移ですが、23年、24年はマイナスとなっており、新米を早食いすることで「食いつないだ」のが実態です。米の不足感が増すごとに産地では集荷競争が起こり、米価

しかし実態は少しでも米が余ると価格が暴落する苦しい経験を農家に与え、需要は毎年10万トン減少すると「脅し」、需給調整の責任を農家に押し付けてきました。コロナ禍で米需要が大きく減少し、在庫が増え、22年、23年に大幅な生産抑制をしたことで生産量が減りました。物価高に對し安価な米の販売進捗、高温障害による精米歩留まりの減少などもあり、米在庫は一転不足となったことが米騒動の原因です。

図1 国産米の生産量・需要実績の推移

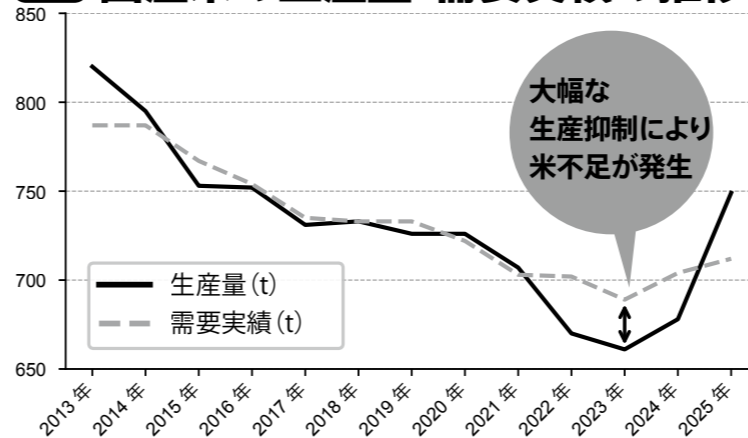


図1(↑)は国産米生産量と需要実績の推移を示しています。2022年、2023年の2年間で需要に対して大幅に生産が少なくなることがわかります。それ以前は生産と需要を極力一致するように国が生産目安を示しどうか達成してきました。

米不足、価格高騰の混乱は2年に及び、令和8年産は暴落の可能性もあります。米価の乱高下は農家経営を消耗させ、さらなる離農を招きます。政府は主食の米に責任を持ち自給率向上、食料安全保障の観点から真剣に取り組むべきです。

国家貿易に属さない一般関税(340円)を払ってでも輸入米が安い状況になってお

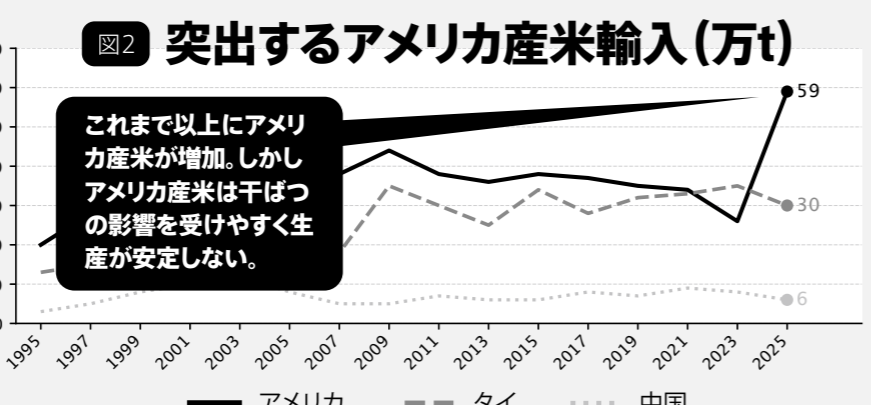


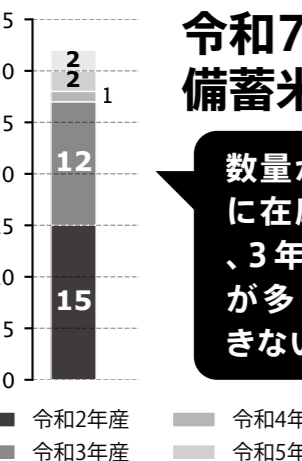
図2 突出するアメリカ産米輸入(万t)

これまで以上にアメリカ産米が増加。しかしアメリカ産米は干ばつの影響を受けやすく生産が安定しない。

米価が高止まりするなかで、安価な輸入米が増えていきます。国家貿易のMA米は加工用も日本政府は毎年購入し、工サ米や援助用に販売し300億500億円の差損を出してきました。やうにSSBS米(主食用)10万tは国産が安かったため輸入される機会はありませんでした。MA米はWTO協定内の「輸入機会の提供」であり義務ではないため、農産物は中止を毎年求めていました。財務省にとっても赤字を垂れ流す厄介者でしたが、米不足を梃に、いざという時はMA米を国民に食べさせよと政府、財務省は本気で考えています。さらにトランプ関税の緩和のためにM

米価が高止まりするなかで、安価な輸入米が増えていきます。国家貿易のMA米は加工用も日本政府は毎年購入し、工サ米や援助用に販売し300億500億円の差損を出してきました。やうにSSBS米(主食用)10万tは国産が安かったため輸入される機会はありませんでした。MA米はWTO協定内の「輸入機会の提供」であり義務ではないため、農産物は中止を毎年求めていました。財務省にとっても赤字を垂れ流す厄介者でしたが、米不足を梃に、いざという時はMA米を国民に食べさせよと政府、財務省は本気で考えています。さらにトランプ関税の緩和のためにM

米価が高止まりするなかで、安価な輸入米が増えていきます。国家貿易のMA米は加工用も日本政府は毎年購入し、工サ米や援助用に販売し300億500億円の差損を出してきました。やうにSSBS米(主食用)10万tは国産が安かったため輸入される機会はありませんでした。MA米はWTO協定内の「輸入機会の提供」であり義務ではないため、農産物は中止を毎年求めていました。財務省にとっても赤字を垂れ流す厄介者でしたが、米不足を梃に、いざという時はMA米を国民に食べさせよと政府、財務省は本気で考えています。さらにトランプ関税の緩和のためにM



## 令和7年11月 備蓄米 (32万t)

数量が少ないうえに在庫も令和2年、3年など古い米が多く、あてにできない。

約10万トンが輸入されています。輸入米合計20万トンと安価で放出された備蓄米60万tにより、国内の民間米備蓄は一気にじゃぶじゃぶ感が作られました。

国産米の生産量が減少し、需要が超過しているため、政府は輸入米の増産を求め、農産物は中止を毎年求めていました。財務省にとっても赤字を垂れ流す厄介者でしたが、米不足を梃に、いざという時はMA米を国民に食べさせよと政府、財務省は本気で考えています。さらにトランプ関税の緩和のためにM

国産米の生産量が減少し、需要が超過しているため、政府は輸入米の増産を求め、農産物は中止を毎年求めていました。財務省にとっても赤字を垂れ流す厄介者でしたが、米不足を梃に、いざという時はMA米を国民に食べさせよと政府、財務省は本気で考えています。さらにトランプ関税の緩和のためにM

国産米の生産量が減少し、需要が超過しているため、政府は輸入米の増産を求め、農産物は中止を毎年求めていました。財務省にとっても赤字を垂れ流す厄介者でしたが、米不足を梃に、いざという時はMA米を国民に食べさせよと政府、財務省は本気で考えています。さらにトランプ関税の緩和のためにM

## 農民連フラッシュ flash

**農民連女性部・第37回総会**  
全国女性部総会が2月1~2日に東京で開かれ、県内から21名が参加しました。記念講演では科学ジャーナリスト植田武智氏が「PFASの危険性」について解説を行いました。全国の農家女性が交流や報告を通じて情報を共有し、食事やおしゃべりを楽しみながら、今後の農作業に向けて英気を養いました。



**全国農民連青年部総会 in 千葉**  
農民連青年部総会では千葉県佐倉市を訪れ、有機栽培で米、野菜を作られている方の取り組みを聞きました。有機栽培の大変さ、その活動へのエネルギーに感銘を受けました。その後、農家だけではなく、学生、ハイヤーの方など様々な方たちとの議論をし、自分の営農や活動を考える刺激となり、有意義な総会でした。



## オンラインから購入できます!

有機玄米  
コシヒカリ

産直農協  
新商品さなこ

化学農薬と化学肥料を使用していない有機JAS認証取得のお米です。自然の栄養素がたっぷり含まれた美味しいお米をぜひお楽しみください!

無農薬・無化学肥料栽培の大豆を使用したさなこです。牛乳や豆乳に入れてきなこドリンクに、お餅やお団子、プリンにかけて召し上がっていただくのもおすすめです!

下記QRコードからご注文できます!

BASE

楽天